



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「カボスの収穫量」と「地熱発電所の発電能力」です。



カボスの収穫量

検索 



地熱発電所の発電能力

検索 





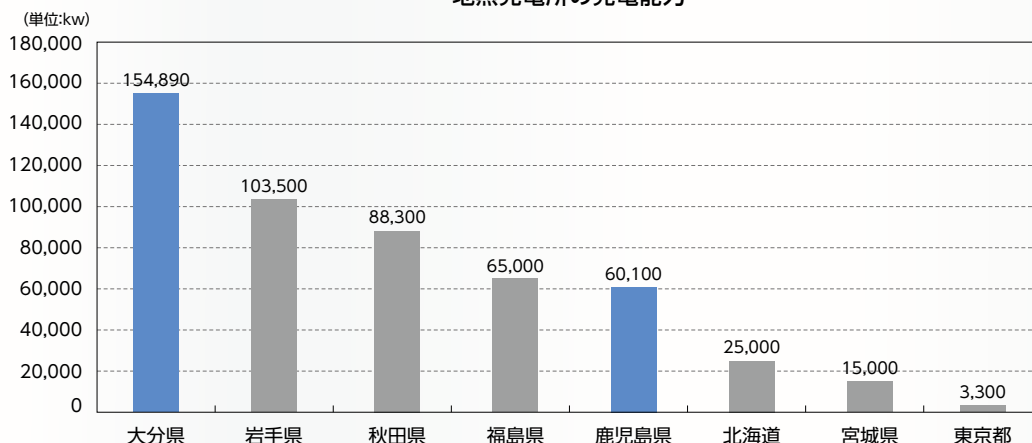
地熱発電所の発電能力

地熱資源が豊富な我が国において、大分県の地熱発電能力は全国第1位です。しかし、地熱発電の開発期間が長期にわたることや初期投資費用が高いことに加え、これまで原子力により安価なエネルギーが安定的に供給されてきたこと等から、日本全体の発電量に占める割合は、約0.3%に留まっているのが現状です。

近年は地熱発電の研究が進み、2006年に2,000kwの発電能力を有する地熱バイナリー発電所（※）が大分県の八丁原に新設された他、来年3月には、大分県九重町の菅原地区で、新たなバイナリー発電所（発電能力は5,000kw）の運転開始が予定される等、地熱資源の有効活用が進んでいます。

※従来では利用できない低温の蒸気や熱水で、沸点の低い媒体（沸点36℃のペンタン等）を蒸発させてタービンを回すことで発電する。

地熱発電所の発電能力



(出所:JOGMEC(独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構)資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)



「カボスの収穫量」

カボスの収穫量は、大分県が国内収穫量の約96%を占め、全国1位を誇っています。

大分県のカボスは、江戸時代に宗源^{そうげん}という医師が京都から苗木を持ち帰ったのがはじまりと言われ、主に竹田や臼杵^{うすき}地区の民家の庭先で薬用として栽培されていました。その後、昭和40年代になってから大分県が栽培を奨励したことから、栽培面積が大きく増加しました。

カボスは、胃液の分泌を正常にしてくれるクエン酸や、ビタミンCをはじめとした栄養分を豊富に含んでおり、健康にいい果実です。

カボスの収穫量(平成23年／都道府県別)



(出所:農林水産省「平成23年産特産果樹生産動態等調査」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直しつつある

福岡県の景気は、主要指標である生産指数が3ヵ月連続で改善し、個人消費も増加基調にある等、総じて持ち直しつつあります。

生産は、消費税増税前の駆け込み需要により四輪自動車が増産となる等、持ち直しつつあります。個人消費は、大型小売店販売額が堅調に推移し、自動車販売が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。一方、住宅建設は消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

(森山 裕司)

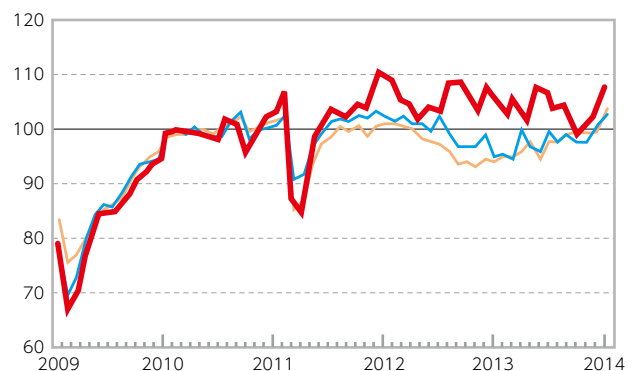
1.生産活動 | 持ち直しつつある

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は107.6と前月比4.2%上昇しました。

主要業種では、消費税増税前の駆け込み需要により、四輪自動車が増産となった輸送機械が大きく上昇する等、生産は持ち直しつつあります。

■ 福岡県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整済、2010年=100)

出所 福岡県、九州経済産業局、経済産業省

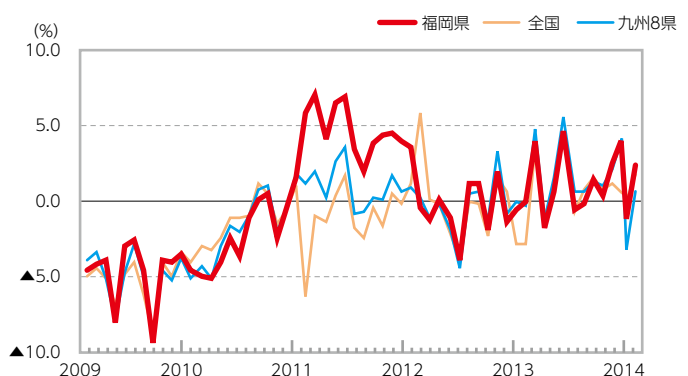


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

2月の大型小売店販売額は、前年同月比2.5%増の513億円となりました。

消費マインドの改善により高額品を中心に堅調な他、主力の飲食料品、衣料品も前年を上回っています。

■ 福岡県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





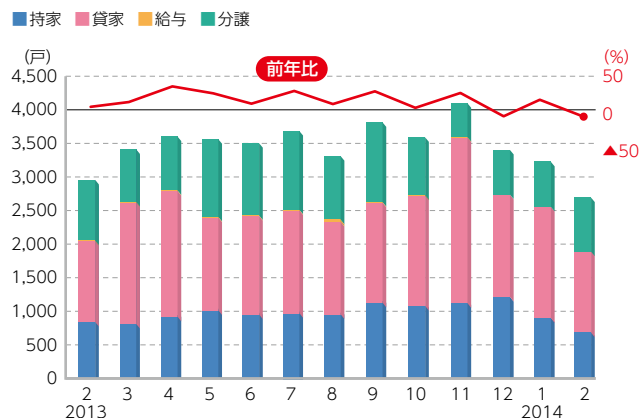
3.住宅建設 | 消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られる

2月の新設住宅着工戸数は、2,698戸と前年同月比8.2%減少し、2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

全ての項目で前年を下回っており、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



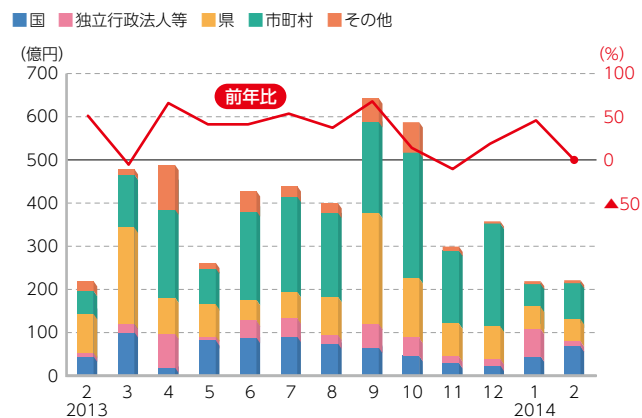
4.公共工事 | 堅調に推移している

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.9%減の396件、金額が前年同月比4.6%増の235億円となりました。

発注者別では、「国」でトンネル工事、「市町村」で市場新築工事等の大型工事があり前年を上回っています。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比17.2%減の24件、負債総額は同63.4%増の約46億円となりました。

販売不振を原因とした大型倒産が複数あり、負債総額は前年を上回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

主要指標である生産や個人消費がプラス基調で推移する等、熊本県の景気は持ち直しの動きが続いています。

生産は、化学が上昇する等、持ち直しの動きが続いています。個人消費は、自動車販売が前年を上回る等、持ち直しの動きが見られます。また、住宅建設は前年を大きく上回っています。

(大仲 陽介)

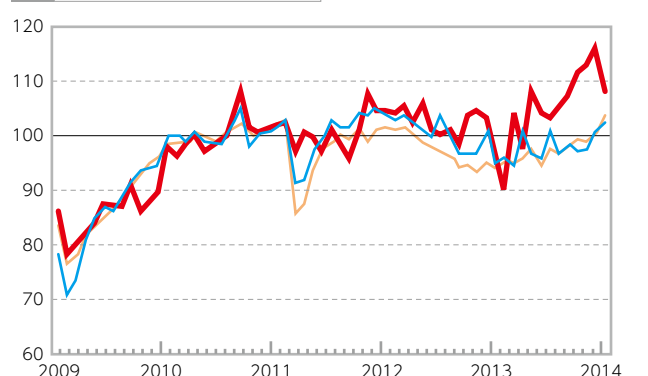
1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は108.1と前月比7.1%低下しました。

主要業種では、スマートフォン向け半導体が減産となった電子部品・デバイスや電気機械が低下する等、生産指数は6ヶ月ぶりに前月を下回りましたが、化粧品関連で増産となった化学が上昇する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

■ 熊本県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100)

出所 熊本県、九州経済産業局、経済産業省

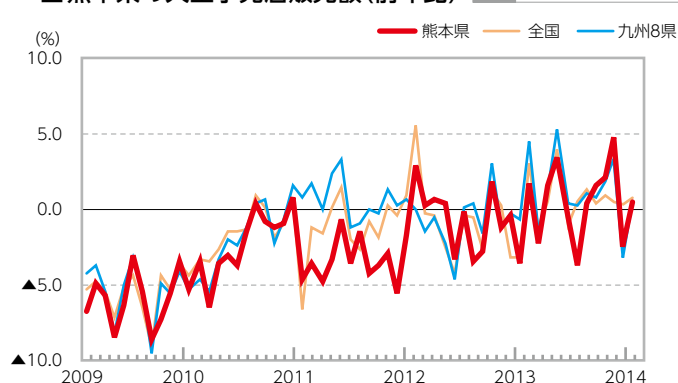


2.個人消費 | 持ち直しの動きが見られる

2月の大型小売店販売額は、前年同月比1.6%増の118億円となりました。

家電等の高額品を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見られます。

■ 熊本県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省



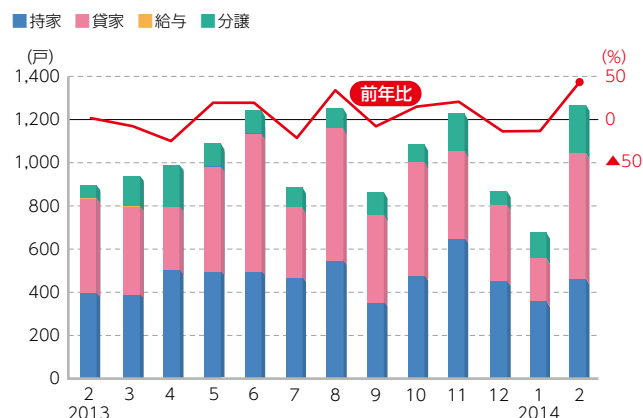
3.住宅建設 | 3ヵ月ぶりに前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、1,255戸と前年同月比44.4%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「貸家」や「分譲（戸建・マンション）」が前年同月を大きく上回り、全体では3ヵ月ぶりに前年同月比プラスとなりました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



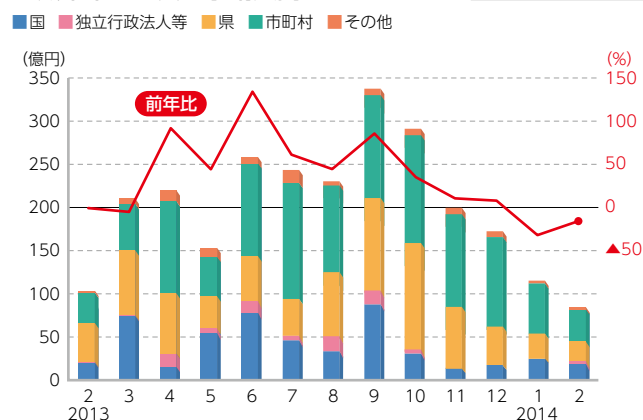
4.公共工事 | 2ヵ月連続で前年同月を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比46.1%減の256件、金額が同18.8%減の83億円となりました。

発注者別では、「国」で国道改良工事、「市町村」で庁舎建設工事等の発注がありましたが、「県」の発注が低迷しています。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

3月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比75.0%減の2件、負債総額が同88.2%減の約2億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

長崎県の景気は、主要指標である生産の持ち直しの動きが一服したものの、個人消費は持ち直しの動きが続いており、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、修繕船の減少により輸送機械が低下する等、持ち直しの動きが一服しています。個人消費は、大型小売店販売額や自動車販売台数が前年を上回る等、持ち直しの動きが続いています。公共工事は前年同月を大きく上回り、好調に推移しています。

(下田 大氣)

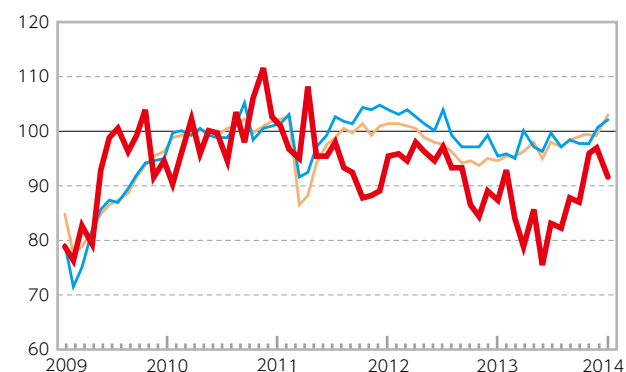
1.生産活動 | 足元では持ち直しの動きが一服

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は92.8と前月比4.0%%低下しました。

主要業種では、修繕船が減少となった輸送機械が低下した他、シリコンウェハの生産が減少した電子部品・デバイスが低下する等、足元では持ち直しの動きが一服しています。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100)

出所 長崎県、九州経済産業局、経済産業省

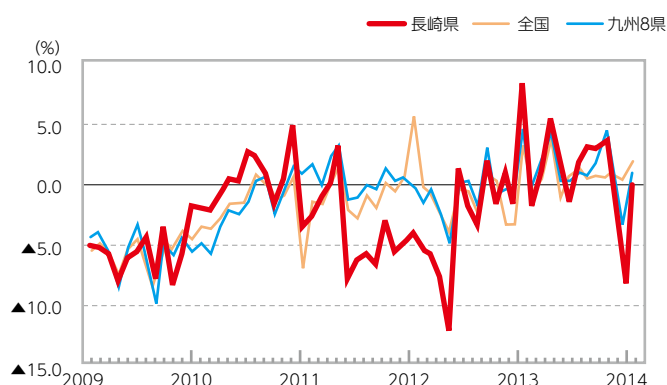


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

2月の大型小売店販売額は、前年同月比0.1%増の86億円となりました。

耐久消費財を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見られます。

■長崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





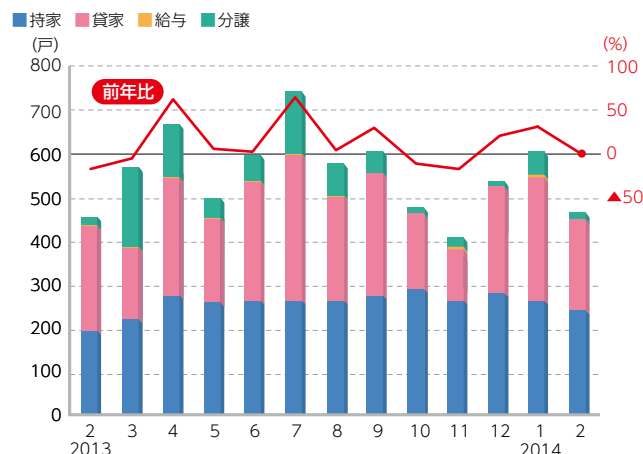
3.住宅建設 | 堅調に推移している

2月の新設住宅着工戸数は、466戸と前年同月比2.0%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」、「分譲（戸建）」が前年を上回り、全体を押し上げました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



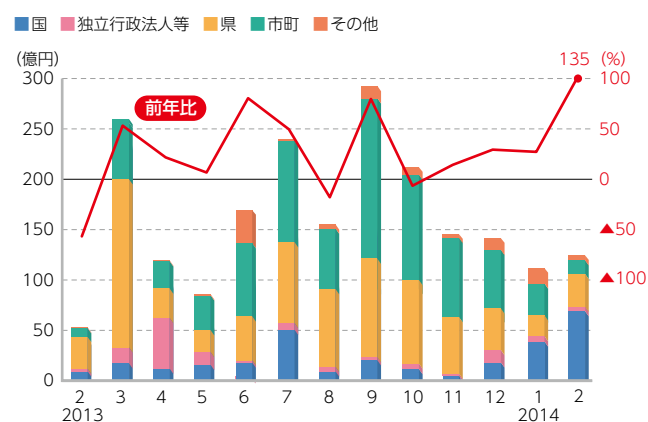
4.公共工事 | 好調に推移している

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.5%減の245件、金額が同約2.4倍の125億円となりました。

発注者別では、海水淡水化設備新設の大型案件があった「国」や学校関連の改修工事があった「独立行政法人」が前年を上回る等、好調に推移しています。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



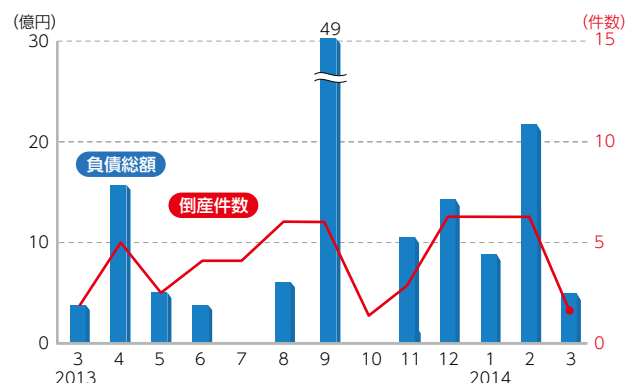
5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

3月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月と同じ2件、負債総額が同51.3%増の約6億円となりました。

ゴルフ関連施設で5億円の大型倒産が発生したため、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 持ち直しの動きに弱さが見られる

佐賀県の景気は、主要指標である生産は底堅く推移しているものの、個人消費に弱さが見られ、持ち直しの動きには弱さが見られます。

生産は、月次の振れを伴いつつも、輸送機械や化学が上昇する等、底堅く推移しています。個人消費は、主力の衣料品と飲食料品ともに前年を下回るなど、弱含みで推移しています。住宅建設は、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

(下田 大氣)

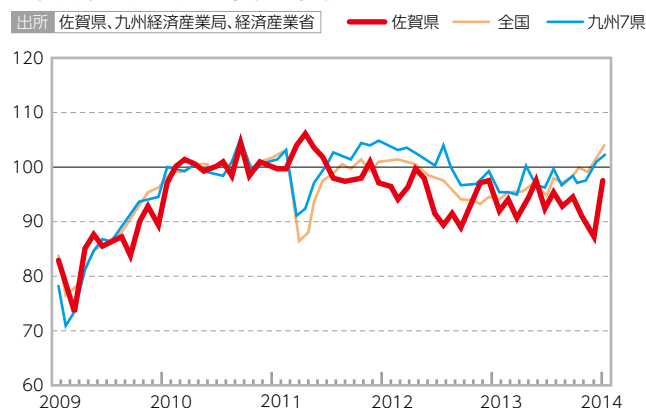
1.生産活動 | 月次の振れを伴いつつも、底堅く推移している

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.4と前月比11.6%上昇しました。

生産は月次の振れを伴いつつも、底堅く推移しています。

主要業種では、自転車等の増産があった輸送機械が上昇した他、入浴剤の生産が増加した化学が上昇しました。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

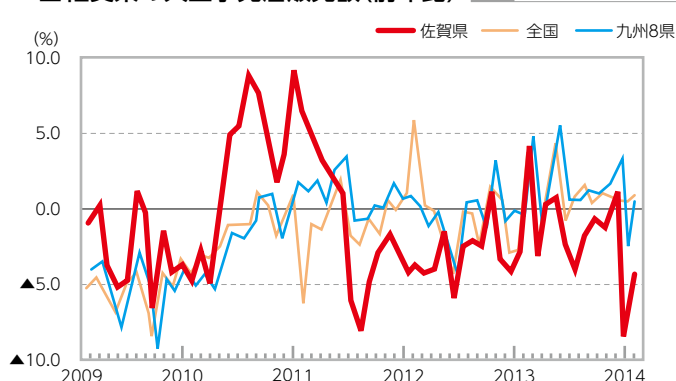


2.個人消費 | 弱含みで推移している

2月の大型小売店販売額は、前年同月比3.2%減の48億円となりました。

主力の衣料品と飲食料品がともに前年を下回るなど、弱含みで推移しています。

■佐賀県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





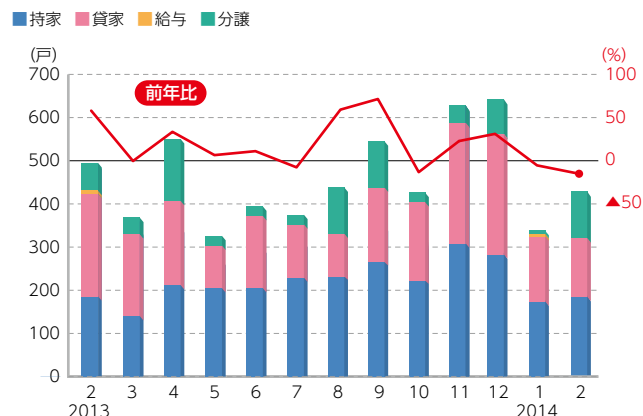
3.住宅建設 | 駆け込み着工の反動減が見られる

2月の新設住宅着工戸数は、427戸と前年同月比13.4%減少しました。

「持家」と「分譲（戸建・マンション）」は前年を上回りましたが、「貸家」が前年を大きく下回りました。足元は、消費税増税前の駆け込み着工の反動減が見られます。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



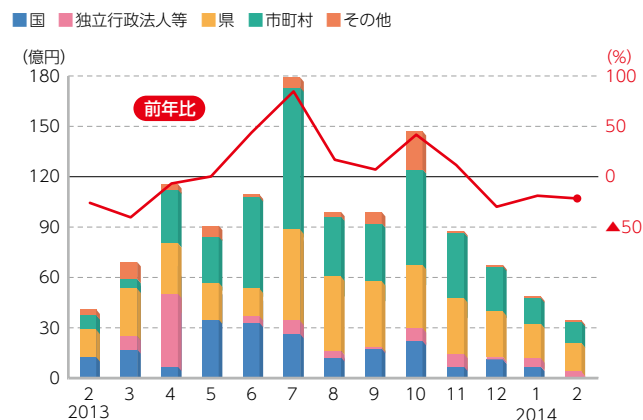
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比4.5%減の190件、金額が同21.3%減の34億円となりました。請負金額は3ヵ月連続で前年を下回りました。

発注者別では、「独立行政法人等」で学校関連の大型工事の発注がありました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



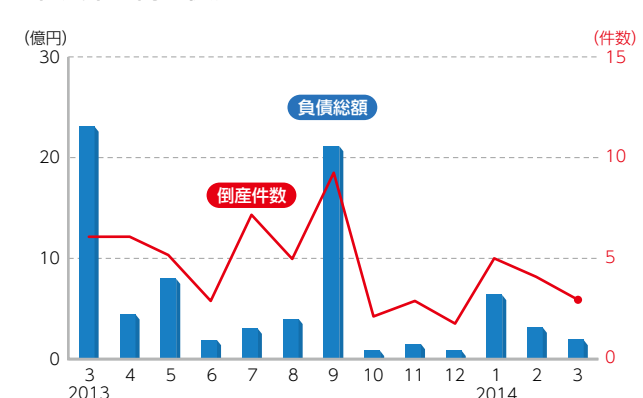
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

3月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比50.0%減の3件、負債総額が同93.9%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 持ち直しの動きが見られる

大分県の景気は、個人消費が底堅く推移する他、主要指標である生産が増加する等、総じて持ち直しの動きが見られます。

生産は、建材向け鉄骨が増産となる等、持ち直しの動きが見られます。個人消費は、大型小売店販売額が前年を若干下回ったものの自動車販売が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。住宅建設は、3ヵ月振りに前年を上回りました。

(松永 圭史)

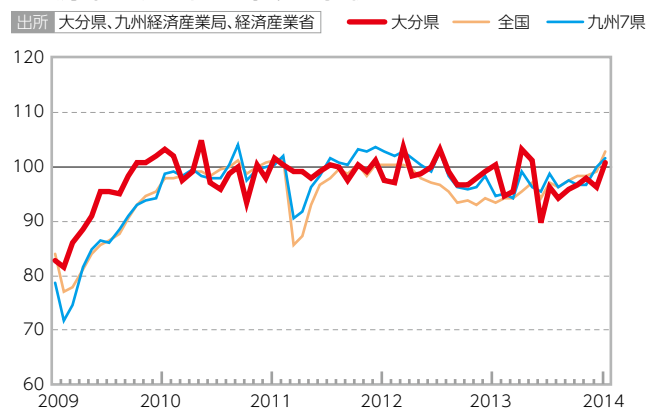
1.生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は101.7と前月比5.1%上昇しました。

生産は、持ち直しの動きが見られます。

主要業種では、建材向け鉄骨等の生産が増加した非鉄金属・金属製品が上昇しました。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

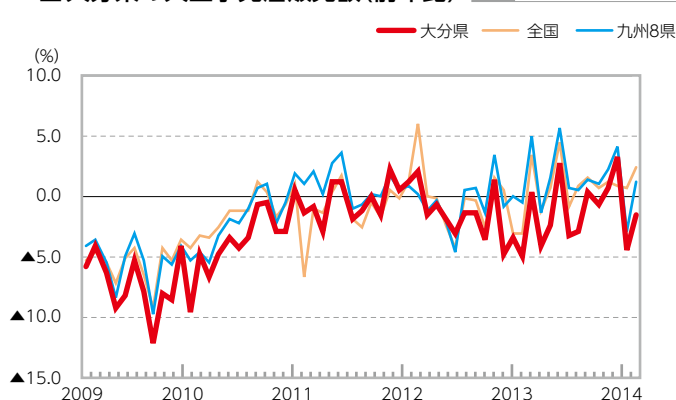


2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の大型小売店販売額は、前年同月比1.5%減の89億円となりました。

耐久消費財を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見られましたが、主力の飲食料品や、専門店で消費者が流れている衣料品は低調に推移しました。

■大分県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





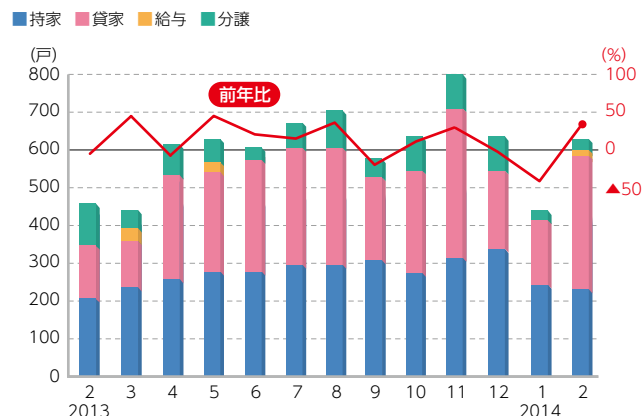
3.住宅建設 | 3ヵ月振りに前年を上回る

2月の新設住宅着工戸数は、前年同月比40.7%増の636戸となりました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「貸家」が前年を大きく上回り、全体を押し上げました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



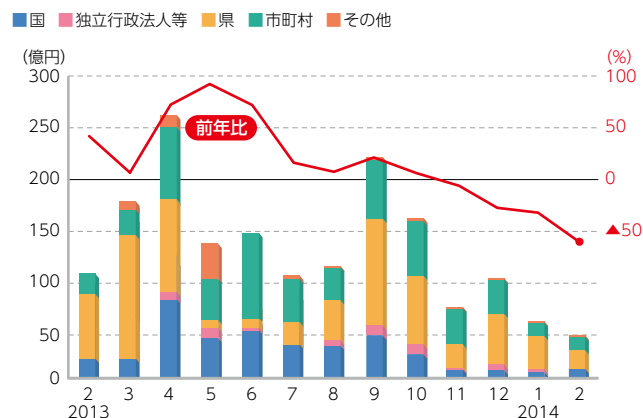
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比46.8%減の255件、金額が同57.8%減の46億円となりました。

大型案件に乏しく、全ての発注者で前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



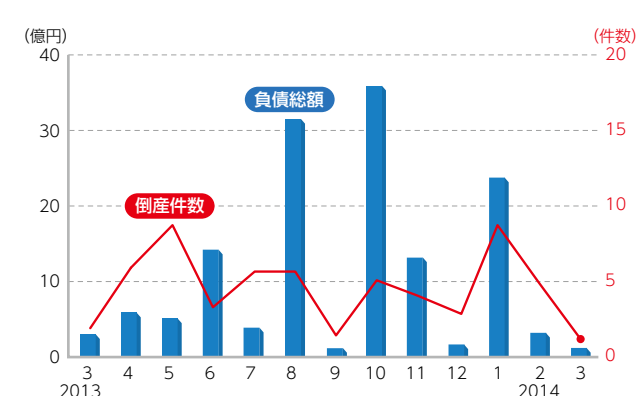
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準に抑制

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の1件、負債総額が同73.3%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 持ち直しの動きが続いている

宮崎県の景気は、個人消費は持ち直しに向けた動きが一服しているものの、主要指標である生産が底堅く推移する等、総じて持ち直しの動きが続いています。

生産は、月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。個人消費は、大型小売店販売額が前年を下回る等、足元は持ち直しの動きが一服しています。住宅建設は好調に推移しています。

(松永 圭史)

1.生産活動 | 底堅く推移している

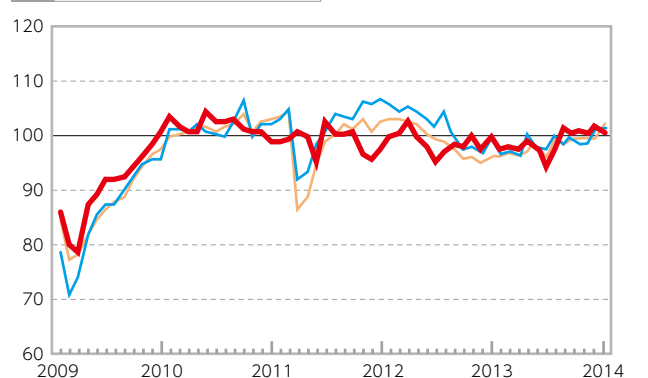
1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は100.5と前月比1.5%低下しました。

生産は、月次の振れを伴いつつも底堅く推移しています。

主要業種では、スマートフォン向け電子機器の生産が減少した電子部品・デバイスが低下しました。

■ 宮崎県の鉱工業生産指数の推移 (季節調整値、2010年=100)

出所 宮崎県、九州経済産業局、経済産業省

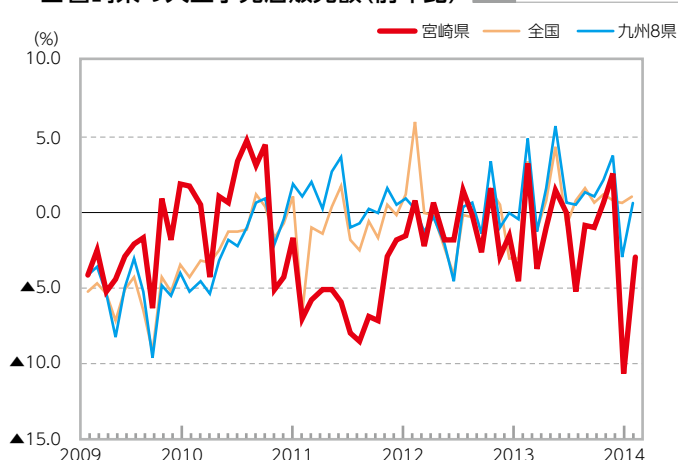


2.個人消費 | 足元は持ち直しに向けた動きが一服

2月の大型小売店販売額は、前年同月比2.9%減の61億円となりました。

耐久消費財を中心に消費税率引き上げ前の駆け込み需要が見られましたが、主力の飲食料品や、専門店で消費者が流れている衣料品は低調に推移しました。

■ 宮崎県の大型小売店販売額(前年比) 出所 九州経済産業局、経済産業省





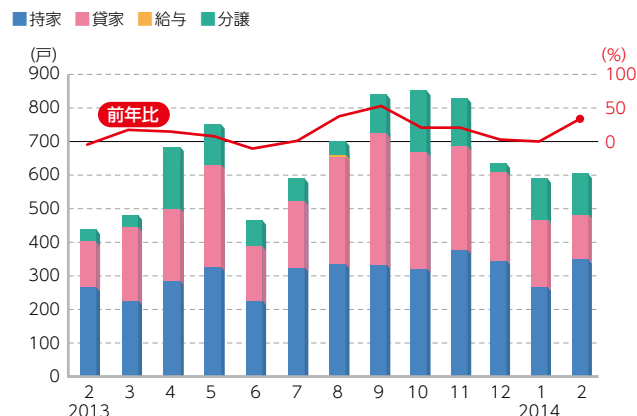
3.住宅建設 | 好調に推移している

2月の新設住宅着工戸数は、610戸と前年同月比35.6%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」が前年を上回った他、前年に着工がなかった「分譲(マンション)」で着工(98戸)がある等、好調に推移しています。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



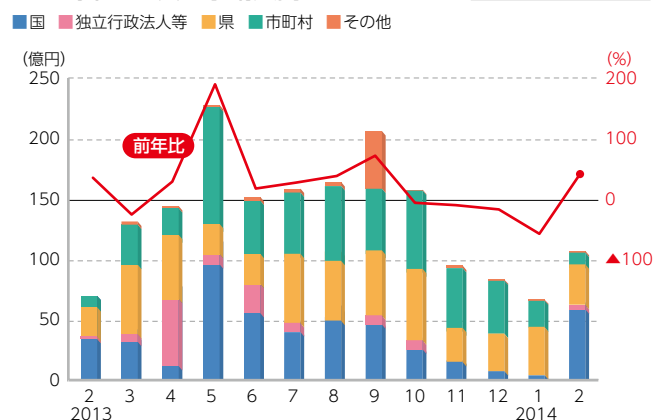
4.公共工事 | 5ヵ月振りに前年を上回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比15.5%減の257件、金額が同45.1%増の107億円となりました。

東九州道関連の大型案件があった「国」が前年を大きく上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



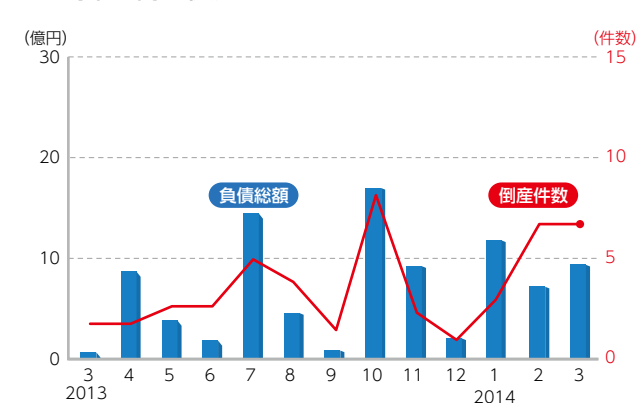
5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比約4倍の7件、負債総額が同約21倍の約9億円となりました。

養殖業で約5億円の倒産が発生する等、負債総額、件数ともに前年を大きく上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

鹿児島県の景気は、個人消費が底堅く推移している他、主要指標である生産指数が増加する等、総じて緩やかな持ち直しの動きが見られます。

生産は、金型関連が大幅に増産となる等、緩やかな持ち直しの動きが見られます。個人消費は、大型小売店販売額が前年をやや下回ったものの、自動車販売が前年を大きく上回る等、底堅く推移しています。住宅建設も、底堅く推移しています。

(森山 裕司)

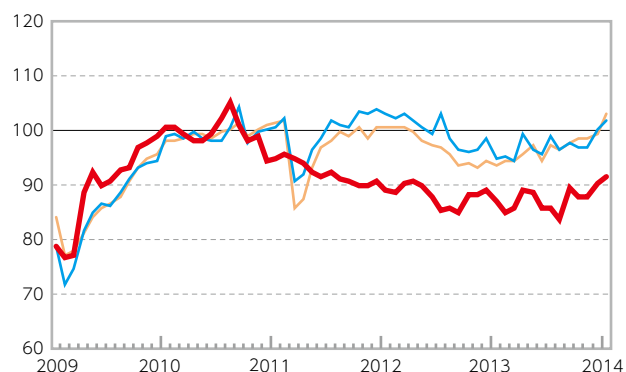
1.生産活動 | 緩やかな持ち直しの動きが見られる

1月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.9と前月比1.5%上昇しました。

主要業種では、金型関連が増産となったはん用・生産用機械や、漬物、和牛枝肉の生産が増えた食料品が前年を上回る等、生産は緩やかな持ち直しの動きが見られます。

■ 鹿児島の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

出所 鹿児島、九州経済産業局、経済産業省



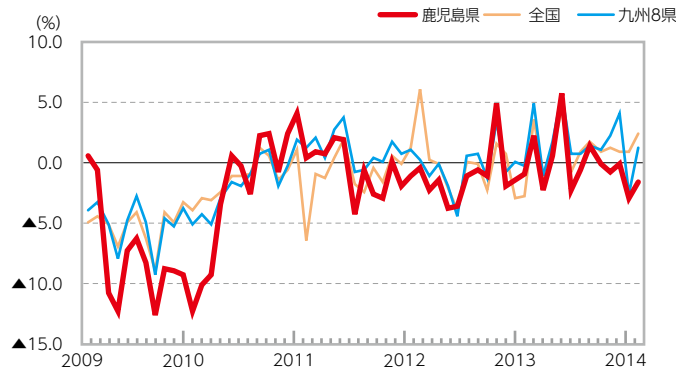
2.個人消費 | 底堅く推移している

2月の大型小売店販売額は、前年同月比1.7%減の111億円となりました。

消費税増税前の駆け込みで、化粧品やアクセサリ等は好調だったものの、主力の飲食料品、衣料品はともに前年を下回っています。

■ 鹿児島の大型小売店販売額(前年比)

出所 九州経済産業局、経済産業省





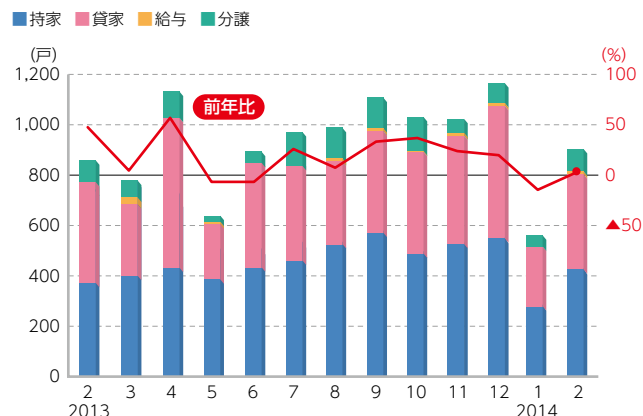
3.住宅建設 | 底堅く推移している

2月の新設住宅着工戸数は、918戸と前年同月比6.0%増加しました。

消費税増税を意識した駆け込み着工により「持家」「貸家」が前年を上回る等、住宅着工戸数は底堅く推移しています。

■ 鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



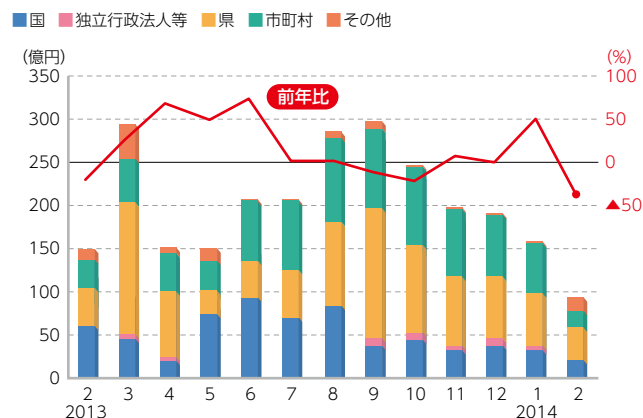
4.公共工事 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

2月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比36.1%減の265件、金額が同37.9%減の91億円となりました。

発注者別では、廃棄物処分場の大型工事があった「その他の公共団体」が前年を大幅に上回りましたが、全体では4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■ 鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比75%増の7件、負債総額が同2.6倍の約8億円となりました。

小売業で販売不振を原因とした3億円超の倒産があり、負債総額、件数ともに前年を上回っています。

■ 鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

